



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月29日

上場会社名 GCAサヴィアン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2174 URL http://www.gcasavvian.com
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 渡辺 章博
 問合せ先責任者 (役職名) IR室リーダー (氏名) 加藤 雅也 TEL 03-6212-7100
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	10,007	4.2	1,915	△25.4	1,946	△23.6	1,220	△19.5
26年12月期第3四半期	9,607	△48.2	2,565	△31.8	2,547	△33.4	1,516	81.3

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 1,163百万円 (△27.7%) 26年12月期第3四半期 1,609百万円 (△53.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	45.54	41.84
26年12月期第3四半期	57.34	57.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第3四半期	14,170	9,584	65.1	335.40
26年12月期	13,188	8,712	61.3	310.18

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 9,219百万円 26年12月期 8,089百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	5.00	—	27.00	32.00
27年12月期	—	10.00	—		
27年12月期（予想）				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

配当に関しましては、当期より、従来の基本方針であった1株当たりの最低配当金を10円から20円へ増額いたします。さらに、業績によっては、20円を超過する特別配当（当期純利益の100%を上限とする配当）を実施する予定です。なお、前期の年間配当金の合計は、1株当たりの最低配当金10円に加え、1株当たり22円の特別配当を含めた金額であります。また、当期純利益から年間配当金を控除した残りの金額は、自社株買いの原資へ充当する予定です。

3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

当社の主要事業であるM&Aアドバイザー事業は、経済環境、株式市況、各国の政治等、さまざまな要因に影響されます。特に大型案件のクローズのタイミングにより業績が大きく変動することから、業績予想の開示は控えさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期3Q	27,487,085株	26年12月期	26,325,224株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	33株	26年12月期	245,189株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期3Q	26,807,140株	26年12月期3Q	26,453,103株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における世界のM&A(*)市場は、公表された案件の総額で3兆2,220億ドル(前年同期比で約3割増加)となり、同期間の比較では、2007年以来8年ぶりの高水準となっております。また、日本のM&A市場においても、公表ベースで15兆3,594億円(前年同期比で約5割増加)となり、とりわけ日本企業による海外企業の買収は8兆円を突破しており、既に過去最高であった2012年の1年分を超えております(以上トムソンロイター調べ)。

このような市場環境の下、日本リージョンのアドバイザー事業ではメガ案件(*)を含む複数の大型案件がクロージングしたことにより四半期としては過去最高の売上高となり、第3四半期累計期間においては前年同期比約2倍となりました。また、米国リージョンのアドバイザー事業において、パイプライン(*)は前年同期に比べ大きく積み上がっており、第4四半期以降にクロージング(*)を予定している案件が数多く含まれております。なお、当社は日本企業が関連するM&Aアドバイザーのランキングで2015年第3四半期において、公表金額ベースで第8位にランクインしました(トムソンロイター調べ)。

こうした経営環境下において、クライアントにとって最善のM&A案件を提案・実行する機能を強化し、今後益々増加が予想されるクロスボーダー案件(*)に対応するため、日米両拠点におけるシニアバンカー(*)の積極採用を行うと同時に、増加するクライアントの東南アジアにおけるM&Aニーズに応えるべく、昨年末にシンガポールに現地法人を設立し、シンガポール有数のブティックファーム(*)であるTC Capitalとの業務提携により、既存のインド・中国法人等に加え、アジア全域をカバーできる体制を構築しております。更に、クライアントのニーズに応えるべく、M&Aの戦略立案及びPMI(*)を提供する専門チームを立ち上げ、サービスラインを拡充しております。

なお、セグメント別においては、アドバイザー事業の売上高は9,795百万円と前年同四半期比36.6%増となり、営業利益は2,132百万円と前年同四半期比約2.2倍の大幅増となりました。一方、アセットマネジメント事業の売上高は、当社子会社である株式会社メザニンが運営するファンドにおいて投資の回収が進んだ結果発生した成功報酬が当期には発生していないため、前年同四半期比で大幅に減少しており、営業損失は217百万円(前年同四半期は1,594百万円の営業利益)となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高10,007百万円(前年同四半期比4.2%増)、営業利益1,915百万円(前年同四半期比25.4%減)、経常利益1,946百万円(前年同四半期比23.6%減)、四半期純利益1,220百万円(前年同四半期比19.5%減)となりました。

日本において「コーポレートガバナンスコード」が導入され、欧米のようにM&Aの更なる推進、M&Aアドバイザーの選定プロセスの透明化(利益相反のある金融機関系アドバイザーの回避)が進むことから、今後、独立系である当社の重要性がますます増加するものと確信しております。

注) (*)につきましては下記の用語集を参照願います。

(セグメント別売上)

(単位: 百万円)

	2015年 第3四半期累計	2014年 第3四半期累計	前期比	増減率 (%)
アドバイザー				
日本	5,951	3,006	2,945	98.0
米国	3,758	4,161	△402	△9.7
その他	85	4	81	—
アセットマネジメント	212	2,435	△2,223	△91.3
売上高合計	10,007	9,607	400	4.2

(メザニンファンド投資残高)

	営業投資有価証券		営業貸付金		合計	
	件	百万円	件	百万円	件	百万円
当第3四半期末 ファンドによる投資(件数・金額)	2	4,500	1	2,500	3	7,000

(用語集)

以下につきましては、本文中に記載の用語を中心に、関連する用語についても記載しております。

1. M&A・・・Merger and Acquisitionの略。企業買収や合併等の総称。
2. メガ案件・・・報酬金額10億円以上のM&A案件のこと(当社での呼称)。

3. パイプライン・・・受注した進行中のM&A案件のこと。
4. クロスボーダー案件・・・国境を越えて行われる企業のM&A案件のこと。国内企業同士で行われるM&Aに比べて、地理的な距離の問題や、法律、税制や文化、商慣行の相違のためにより難易度の高い案件となることが多い。
5. シニアバンカー・・・M&Aアドバイザーの中でも特に経験豊富で専門性が高く、かつ案件獲得の中心となる人材のこと。
6. プティックファーム・・・独立系M&Aアドバイザリー専門会社のこと。
7. クロージング・・・M&A案件完了のこと。買収案件の場合、買収契約書の実行を指し、買手から売手に対して買収対価が支払われ、売手は買手に対し買収対象を引き渡す。
8. アセットマネジメント・・・投資家に代わって資産の効率的な運用を行う業務のこと。また、投資家から資金を集い、出資を行うことを目的とした組合をファンド（投資事業組合）という。
9. メザニン・・・メザニン（Mezzanine）とは「中二階」の意味であり、メザニンファイナンスは、シニアローン（通常融資）とエクイティ（普通株式）の中間に位置する資金調達方法をいう。
10. PMI・・・Post Merger Integrationの略。M&Aによる統合効果を確実にするために、M&A初期段階より統合阻害要因等に対し事前検証を行い、M&A実行後においてシナジーを実現し、企業価値を向上させるための統合プロセスのこと。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間末における総資産は14,170百万円となり、前連結会計年度末比982百万円の増加となりました。その主な要因は、売掛金の増加額1,211百万円によるものであります。なお、純資産は9,584百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の主要事業であるM&Aアドバイザリー事業は、経済環境、株式市況、各国の政治等、様々な要因に影響されます。特に大型案件のクローズのタイミングにより業績が大きく変動することから、業績予想の開示は控えさせていただきます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,360	7,930
売掛金	918	2,129
有価証券	51	630
営業投資有価証券	598	153
その他	514	2,020
流動資産合計	11,443	12,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	117	100
その他(純額)	81	107
有形固定資産合計	199	208
無形固定資産	54	54
投資その他の資産		
投資有価証券	283	187
関係会社株式	36	46
その他	1,174	809
貸倒引当金	△2	—
投資その他の資産合計	1,491	1,042
固定資産合計	1,744	1,305
資産合計	13,188	14,170
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	879	1,190
賞与引当金	—	2,117
その他	3,308	1,256
流動負債合計	4,187	4,564
固定負債		
その他	288	21
固定負債合計	288	21
負債合計	4,476	4,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	588	1,317
資本剰余金	2,911	2,882
利益剰余金	4,319	4,565
自己株式	△241	△0
株主資本合計	7,578	8,765
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7	△22
為替換算調整勘定	504	476
その他の包括利益累計額合計	511	454
新株予約権	622	365
純資産合計	8,712	9,584
負債純資産合計	13,188	14,170

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	9,607	10,007
売上原価	5,691	6,481
売上総利益	3,916	3,526
販売費及び一般管理費	1,350	1,611
営業利益	2,565	1,915
営業外収益		
受取利息	10	24
為替差益	—	5
その他	1	0
営業外収益合計	12	31
営業外費用		
為替差損	29	—
その他	0	—
営業外費用合計	30	—
経常利益	2,547	1,946
特別利益		
投資有価証券売却益	—	81
特別利益合計	—	81
特別損失		
投資有価証券評価損	15	24
特別損失合計	15	24
税金等調整前四半期純利益	2,531	2,002
法人税等	1,015	781
少数株主損益調整前四半期純利益	1,516	1,220
四半期純利益	1,516	1,220

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,516	1,220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△29
為替換算調整勘定	93	△27
その他の包括利益合計	92	△57
四半期包括利益	1,609	1,163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,609	1,163
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	アドバイザー 事業	アセット マネジメント 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,171	2,435	9,607	—	9,607
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,171	2,435	9,607	—	9,607
セグメント利益	971	1,594	2,565	—	2,565

なお、アドバイザー事業の地域別内訳は以下のとおりです。

	日本 (百万円)	米国 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)
売上高	3,006	4,161	4	7,171
営業利益(又は営業損失)	395	691	△115	971

(注) 1. 「その他」に属する主な国は英国であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	アドバイザー 事業	アセット マネジメント 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,795	212	10,007	—	10,007
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,795	212	10,007	—	10,007
セグメント利益(又は損失)	2,132	△217	1,915	—	1,915

なお、アドバイザー事業の地域別内訳は以下のとおりです。

	日本 (百万円)	米国 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)
売上高	5,951	3,758	85	9,795
営業利益(又は営業損失)	1,630	602	△100	2,132

(注) 1. 「その他」に属する主な国は英国、インド、中国であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。